



みどり野

潟上市立出戸小学校
校報 No.14
令和8年2月16日
文責：佐々木雅巳

校訓 「 太陽のように明るく 松のようにたくましく 海のように心豊かに 」
教育目標 「 進んで学び たくましく 心豊かな子どもの育成 」

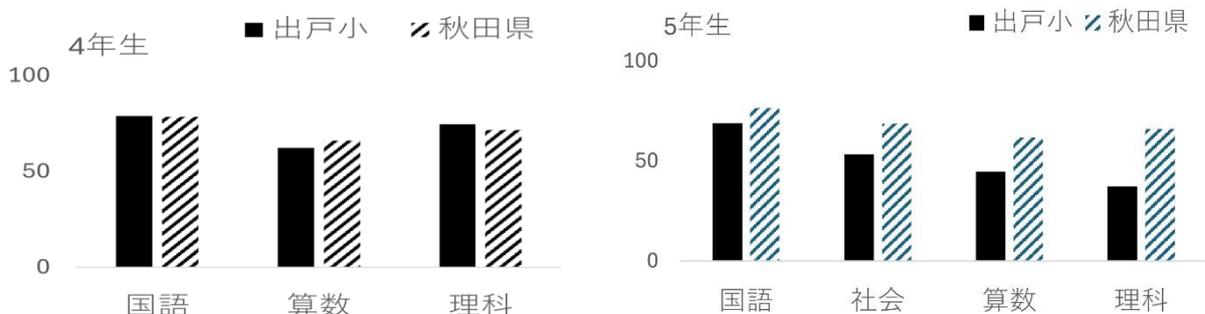
目指す子どもの姿 進んで学ぶ子ども たくましい子ども 心豊かな子ども

第3回学校運営協議会で1年間を振り返りました

2月10日(火)、今年度最後の学校運営協議会では、今年度の学校教育活動と目指す子どもの姿についての成果と課題、ご提案、感想をいただきました。評価等は次のとおりです。次年度以降の取組に生かしていきます。

目指す子どもの姿	評価	主なご意見等
1 進んで学ぶ子どもの育成	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査では、県平均との差が学年によって大きな違いがあった。しかし、児童の「授業が楽しい」92%、「勉強を理解している」93%と高くなっている。今後も楽しい授業に参加することで、児童自らが興味関心をもち学力向上につながっていくこと期待している。 ・学力検査の数値を平均値に近付くことができるように現状を把握した上で改善してほしい。
2 たくましい子どもの育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の学習行事の在り方を考え、運動会の種目内容、発表会の演目、委員会活動等、児童が自分たちで考え、目標に向かって根気強く協力し合い、取り組んできたことが伺えた。 ・職員や保護者、地域の方々に温かく見守られ認められる体験をたくさん積み重ねたことで、自己肯定感が高まっている。自分に自信をもつことで、様々な困難を乗り越えようとする力を付けてほしい。
3 心豊かな子どもの育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しくて、人や地域のためにがんばる児童が多く、心豊かな子どもに育っていると思われる。 ・今後も異学年齢交流をとおして、コミュニケーション能力を高め、思いやりのある温かい人間関係を築いてほしい。

秋田県学習状況調査 (R7.12月実施) の結果と今後の取組について



学年ごとに、誤答の傾向を分析し、個に応じた授業改善を心掛けていきます。年度の終わりまで補充的な学習も行い、学び直しができるようにします。また、子どもたちの意欲を高め、持続できる工夫をさらに心掛けていきます。

保護者アンケートの集計結果のお知らせ

NO	質問 (とても...4点 やや...3点 あまり...2点 全く...1点)	R7 平均	R6 平均
1	お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている。	3.2	3.1
2	お子さんは、家庭で自主的に家庭学習や読書をしている。	2.8	2.8
3	お子さんは、健康で体力ある体をつくろうとしている。	2.9	3.0
4	お子さんをまじえた家族で、ほぼ毎日一緒に話す時間がある。	3.4	3.5
5	お子さんと、将来の夢や希望について話し合うことがある。	3.0	3.1
6	お子さんは、他を思いやるやさしい子に育てている。	3.4	3.2
7	お子さんは、家庭できちんとあいさつをしている。	3.4	3.4
8	お子さんは、約束やルールを守っている。	3.0	3.1
9	お子さんは、規律ある生活習慣を身につけている。	2.9	3.0
10	学校の教育活動を理解している。	3.1	3.0
11	学校は子どもの学力向上のために工夫した授業をしている。	3.3	3.1
12	学校は授業に話し合い活動をよく取り入れ、積極的な子どもの育成に努力している。	3.3	3.2
13	学校は将来にむけた生き方や進路選択に役立つ教育によく取り組んでいる。	3.0	3.0
14	学校は子どもの体力向上や健康増進など、丈夫な体の育成によく取り組んでいる。	3.3	3.2
15	学校は家庭学習への支援などにより、粘り強い心の育成によく取り組んでいる。	3.0	3.0
16	学校はいじめのない学校にする努力をよくしている。	3.0	2.8
17	学校は、あいさつや基本的生活習慣の指導をよくしている。	3.2	3.2
18	学校は、命を大切にすることの指導に努め、体験活動などを充実させている。	3.1	3.0
19	学校は運動会や学習発表会など学校行事を工夫して行っている。	3.4	3.3
20	学校は児童会活動を積極的に行い、友達と協力する心の育成に努めている。	3.2	3.1
21	学校は地域の方々と連携して行事や諸活動を進めたりしてよく行っている。	3.2	3.2
22	学校は、避難訓練や防災教育によく取り組んでいる。	3.3	3.3
23	学校は、清掃活動や資源回収活動など福祉やボランティア活動をよくしている。	3.1	3.1
24	学校の校舎内外の施設設備は、子どもたちの活動の場としてふさわしい。	3.2	3.1
25	学校は連絡や相談をしやすい。	3.2	3.0
26	学校は子どもたちの生活や活動の様子をよく伝えている。	3.2	3.0
27	学校の先生たちは教育に熱心で信頼できる。	3.4	3.1
28	今後、本校で力を入れて取り組んでほしいこと。(上位5つの項目と主な意見等) [1位] 体験的な活動(59名)...体験的な活動を通して責任感や達成感などを感じてほしい。 [2位] 礼儀や言葉づかいなどの指導(54名) [3位] いじめ、不登校等の対策(40名) [4位] 国語や算数など教科の学力向上(35名)...子どもの可能性が広がるような授業をしてほしい。 [5位] 体力づくりや運動 (28名) ...クマの出没により、放課後、戸外で遊ぶ機会が減った。体を動かす機会を増やしてほしい。		

自由記述では、貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました

昨年度は、「いじめの対応」に対するご意見が複数ありましたが、今年度は、減少いたしました。引き続き、トラブルや悩み事について、表面的な解決を目指すのではなく、その背景や要因について広く深く情報収集に当たり、子どもの心に寄り添うことができるようにすることを、全教職員で共通理解して対応に努めていきたいと思っております。

「学習発表会での保護者席の入れ替え」についてのご意見をいただきました。すべての保護者にすべての発表をゆっくりと見ていただきたいと考えております。そのため、入れ替え制をとらずに対応できればと考えております。

教職員への感謝、温かい励ましの言葉をたくさんいただきました。今後も遠慮なくご連絡、ご相談をお願いします。